

# 第2回 市長フォーラム

## 趣旨・目的

我が国の医療保険制度は、国民誰もが、等しく医療機関にかかり必要な医療を受けることができるような体制整備を目指してきました。

しかし、様々の構造的な問題を抱え、その財政は、約1兆円という巨額の一般会計からの繰り入れを行っても、なお、4分の3近くの保険者が赤字となっており、正に危機に直面しています。

平成15年3月に閣議決定された「医療保険制度体系及び診療報酬体系に関する基本方針」では、①保険者の再編・統合、②新しい高齢者医療制度の創設等が提唱され、平成18年度までに抜本の見直しが求められており、現在、全国市長会においても、専門の委員会を中心に医療保険制度改革に関する意見書の取りまとめに向けた議論を重ねています。

このような時機にあたり、「破綻寸前の国民健康保険をどうするか」をテーマに、現行の国保制度の抜本的改革、財政基盤の強化を中心に、これからの医療保険制度のあり方等について、市長や学識経験者等によるパネルディスカッションを行い、提言をしたいと考えております。

## 主 催

全国市長会・財団法人日本都市センター

## 開催日時

平成17年4月13日(水) 13:45～15:45

## 開催場所

全国都市会館2階 大ホール 東京都千代田区平河町2-4-2

## テーマ

「破綻寸前の国民健康保険をどうするか  
～医療保険制度の一本化を踏まえた国保財政の基盤強化～」

## 進 行

- |       |   |
|-------|---|
| 13:45 | 開会                                      |
|       | ① 国民健康保険の現状・課題について                      |
|       | ② 医療保険制度の抜本的改革について<br>～国保の危機脱却に向けて何が必要か |
|       | ③ フロアーからの意見、質疑応答等                       |
|       | ④ 共同アピール                                |
| 15:45 | 閉会                                      |

☆ 放映予定 本フォーラムの様様については、(財)自治体衛星通信機構の地域衛星通信ネットワークにより、平成17年4月19日(火)13時から放映される予定です。

・全国市長会企画調整室  
〒102-8635 東京都千代田区平河町2-4-2 03-3262-2312  
・財団法人日本都市センター研究室  
〒109-0093 東京都千代田区平河町2-4-1 03-5216-8771

# パネルディスカッション 講師略歴

コーディネーター 飯野 奈津子 (いの なつこ) NHK解説委員



1983 年にはじめての女性記者としてNHKへ入局。東京社会部で警視庁・厚生省(現厚生労働省)などを担当、主に家族問題、少子高齢化問題、介護問題などを取材。1999 年に解説委員となり、医療、福祉、年金、女性問題などを担当し、土曜フォーラム「子育ての楽しさを実感できる社会」の司会を務めるなど、多岐にわたる活動をしており、現在に至る。著書に『患者本位の医療を求めて』がある。

## パネリスト

西村 周三 (にしむら しゅうぞう)

京都大学大学院経済学研究科教授



京都大学経済学部卒業後、同大学院経済学研究科修士課程終了。京都大学経済研究所助手、横浜国立大学経済学部助教授、京都大学経済学部助教授、同教授を経て、同大学院経済学研究科教授となり、現在に至る。

2003 年から厚生労働省社会保障審議会医療保険部会特別委員を務める。著書に『保険と年金の経済学』、『医療と福祉の経済システム』、共編著に『超高齢社会と向き合う』がある。

新田 秀樹 (にした ひでき)

大正大学人間学部人間福祉学科教授



1981 年東京大学法学部卒業後、厚生省入省。同省国民健康保険課課長補佐、名古屋大学助教授、厚生労働省室長、内閣参事官等を経て、2003 年 4 月より大正大学人間学部教授となり、現在に至る。

2003 年から(独)福祉医療機構基金事業審査・評価委員会委員、2004 年から神奈川県国民健康保険審査会委員、全国市長会医療保険制度改革検討会議専門委員、国民健康保険中央会医療保険制度改革研究会小委員会委員を務める。著書に『社会保障改革の視座』、『福祉を考えるヒント』等がある。

石川 良一 (いしかわ りょういち)

稲城市長



1978 年早稲田大学社会科学部卒業後、株式会社三陽商会に入社、その後、米国にて空手指導にあたる。1983 年稲城市議会議員となり 2 期務める。1991 年稲城市長に初当選し、現在 4 期目。全国青年市長会会長(現顧問)、全国市長会社会文教委員会副

委員長、2004 年から東京都市長会会長を務める。共著に『青年市長 ニッポンの新世纪』、『青年よ、故郷に帰って市長になろう』がある。

喜多 洋三 (きた ひろみ)

守口市長



1950 年守口市役所に勤務、1986 年に守口市助役となり、翌 1987 年に守口市長に初当選し、現在 5 期目。2000 年全国市長会介護対策特別委員会委員長、2001 年厚生労働省社会保障審議会介護給付費分科会委員、2003 年同介護保険部会委員、2004 年全国市長会政策推進委員、2005 年全国市長会生活保護費負担金等対策会議委員を務める。

河内山 哲朗 (こうちやま てつろう)

柳井市長



1981 年早稲田大学法学部卒業後、松下政経塾(第 2 期生)入塾、その後、同塾に入職し 1992 年まで勤める。1993 年柳井市長に初当選し、現在 4 期目。1995 年第 14 期、1997 年第 15 期の青少年問題審議会委員就任、1999 年山口県国民健康保険団

体連合会理事長(現職)、2001 年山口県市長会会長、2003 年全国市長会国民健康保険対策特別委員会委員長(現職)、厚生労働省社会保障審議会委員を務める。共著に『民に開け』がある。